

1 学校教育目標

豊かな心を持ち、主体的に活動する『日置っ子』の育成

2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)

令和3年度 全ての学校教育活動をとおして、解決したい5つの課題

- 1 生徒一人一台の端末を効果的に活用していく授業づくり・授業改善に取り組む
- 2 家庭学習の定着、望ましい生活習慣づくりについて、家庭との連携した支援等に取り組む
- 3 SNSの利用等、情報モラル教育、人権教育の推進を図る
- 4 いじめのない学校づくりに向けた開発的生徒指導、教育相談活動の充実を図る
- 5 生徒会活動、部活動の活性化を図る

3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題

【令和3年度重点目標】

＜知＞確かな学力の定着と向上 ～「わかる授業」「学びたくなる授業」づくりの実践～  
 ＜徳＞望ましい生活習慣の定着・いじめのない学校づくり  
 ＜体＞健康・体力の向上  
 ＜故郷＞地域とともにある学校づくり(地域連携・小中一貫)

【チャレンジ目標】

＜日置中 美・礼・時～場を清め 礼を尽くし 時間を守る～＞

4 自己評価

評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析
学力向上推進	○確かな学力の定着と向上 ～「わかる授業」「学びたくなる授業」づくりの実践～	・協同学習への積極的な取組 ・ICTの効果的な活用 ・家庭での学習習慣の定着 ・愛汗ノートの活用 ・ユニット型研修	生徒用アンケート結果及びコミュニティ・アンケート結果等をもとにして 4: 80%以上 3: 70%以上(おおむねできている) 2: 50%以上(あまりできていない) 1: 50%未満	3	●新型コロナ感染防止対策を講じながら、協同学習を積極的に授業に取り入れると共にICTを効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図った。 ●自主学習ノートの「愛汗ノート」を、1日1ページを目標として家庭の協力を得ながら家庭学習にとり組み成果が上がった。 ●学校運営協議会の委員の方の協力を得て校内研修会を実施し、教員の人材育成や生徒の学力向上に努めた。
心身安全推進	○望ましい生活習慣の定着 ○いじめのない学校づくり	・『日置中 美・礼・時』の推進 ・教育相談の充実 ・情報モラル・人権教育の推進 ・生徒会活動の活性化	生徒用アンケート結果及びコミュニティ・アンケート結果等をもとにして 4: 80%以上 3: 70%以上(おおむねできている) 2: 50%以上(あまりできていない) 1: 50%未満	3	●「日置中 美・礼・時」が生徒に浸透し、掃除や挨拶、時間を守ることを意識した望ましい生活習慣の定着が進んだ。 ●小さな情報も教職員全体で情報共有しながら生徒を支援する体制づくりを構築できている。 ●人権教育講演会や情報モラル学習を実施した。「日置中にいじめはない」と回答する生徒の割合が93%と高く、成果が上がっている。
	○健康・体力の向上	・部活動の活性化 ・残食ゼロに向けた食育指導	生徒用アンケート結果及びコミュニティ・アンケート結果等をもとにして 4: 80%以上 3: 70%以上(おおむねできている) 2: 50%以上(あまりできていない) 1: 50%未満	3	●朝練でグラウンドを走ったり、部活動の練習に自主的に取り組む生徒の姿が多く見られた。アンケートでも「部活動に積極的に参加している」と回答している生徒の割合が88%と高く、データでも裏付けられた。 ●「給食を好き嫌いなく食べる」と回答する生徒の割合が高く、生徒は時間をかけても完食するため、残食がほとんどない。
地域連携推進	○地域とともにある学校づくり (地域連携・小中一貫)	・学校情報の発信 ・地域連携・地域貢献の充実 ・小中一貫の取組の推進 ・出前授業、漢字検定 ・あいさつ運動 ・学校評価の活用	コミュニティ・アンケート結果等をもとにして 4: 80%以上 3: 70%以上(おおむねできている) 2: 50%以上(あまりできていない) 1: 50%未満	3	●ホームページや「日置中コミュニティだより」で情報を発信するとともに、地域の情報を積極的に収集し双方向での情報の共有を図っている。 ●地域とともに毎月25日を「ニコニコの日」あいさつ運動を展開した。「学校や地域で積極的に挨拶をしている」と回答した生徒の割合が高い。 ●1学期に音楽、2学期に保健の出前授業を小学校で実施し、小中一貫の教育を推進している。 ●学校評価を精査し改善点を洗い出すなど学校運営に反映させ、家庭や地域の要請に応じている。
組織経営・その他	目標達成		教職員の自己点検結果等をもとにして 4: 80%以上 3: 70%以上(おおむねできている) 2: 50%以上(あまりできていない) 1: 50%未満	3	●「教職員の協働体制」や「学校改善に向けた取組」について、いずれも85%と高い評価結果となっており、教職員の意識の高さがうかがえる。 ●七夕飾りや門松づくりを、地域の方々と共にするなどコミュニティ・スクールの仕組みを生かした取組を行った。
	学校教育目標や重点目標の達成	・学校教育目標や重点目標の達成に向けて教職員が一丸となって努力している。 ・学校改善に向けた新たな取組ができている。			
	業務改善	・時間外業務時間の削減に向けた取組を推進できている。	時間外業務時間の月平均が 4: 45時間以下 3: 60時間以上 2: 70時間以上 1: 80時間以上	2	●機会あるごとに、働き方改革についてその趣旨を教職員に説いているが、時間外業務時間の削減は十分ではない。
	人間関係	・日々の教育活動における問題意識や悩みを気軽に相談し合える人間関係を構築する。	教職員の自己点検結果等をもとにして 4: 80%以上 3: 70%以上(おおむねできている) 2: 50%以上(あまりできていない) 1: 50%未満	3	●全教職員がきめ細かく情報共有を図り、組織的に業務を遂行するように努めている。 ●学年部を中心として、常日頃から温かい人間関係の構築に努めている。

5 学校関係者評価

学校関係者からの意見・要望等	評価
●授業を工夫し、生徒一人ひとりの状況に応じた指導がされている。 ●ICTについては少しずつでも触れながら慣れていくことが大切。 ●気兼ねなく発表できる雰囲気づくり、発表場面の設定し、表現力を育成してほしい。 ●「愛汗ノート」の取組を継続し、家庭学習の定着を図ってほしい。	B
●「美・礼・時」と焦点化したことが良い成果として表れている。 ●SCの相談時間を多く設け、支援しやすい体制を整えると良い。 ●子供の小さなサイン(SOS)を見逃さないようにしてほしい。 ●いじめはないと思えるように人権教育に取り組む必要がある。	B
●部活動に熱心に取り組んでいる様子が伺える。 ●部活動に頼らない体力づくりを意識させる取組をしてほしい。 ●今後も残食ゼロをめざし、給食指導や食育を充実させてほしい。 ●食べる大切さ、意欲、楽しみを健康につなげてほしい。	B
●「日置中コミュニティだより」で学校を身近に感じられる。 ●小さな行事でも積極的にボランティアの参加をお願いしたい。 ●出前授業は中学校への理解を深める意味で有効と思う。 ●「ニコニコの日」の取組は、家庭・地域・学校が一体となった活動となり良かった。	B
●コロナ禍の中、工夫をされた取組で、成果があらわれている。 ●先生方の意欲と指導力により、「豊かな心」が育っている。 ●今後も地域との連携を密に色々な取組を行ってほしい。 ●業務改善に向けて思い切って根本から統合・削減・廃止していく勇気も必要である。 ●学校が困っていることを地域に協力依頼することも必要である。 ●日頃からお互いに声を掛け合ったりしながら、より働きやすい職場にしてほしい。 ●きめ細かな情報共有を図るとともに、より一層良好な人間関係の構築に努めてほしい。	B

6 学校評価総括(取組の成果と課題)

- 【成果】 1 ICTを積極的に活用しながら協働学習、学びあい学習の充実を図ることができた。  
 2 家庭学習の定着に向けて「愛汗ノート」を積極的に活用する生徒が増えた。  
 3 時間・あいさつ・掃除等、『日置中美・礼・時』の取組が、望ましい生活習慣の定着につながっている。  
 4 コロナ禍でも生徒が主体的に取り組む、工夫した形で修学旅行・体育祭・文化祭を成功へと導いた。  
 5 「ニコニコの日」、出前授業、漢検、ペットボトルキャップ回収等、地域連携・小中一貫の新たな取組を進めることができた。
- 【課題】 1 ICTを積極的に活用しながら、効果的に学力向上につなげる授業づくり・授業改善の取組が必要である。  
 2 家庭学習の定着、望ましい生活習慣づくりについて、これまで以上に家庭との連携した取組が必要である。  
 3 SNSの利用等、情報モラル教育、人権教育の推進が必要である。  
 4 いじめのない学校づくりに向けた開発的生徒指導、教育相談活動を進めながら、生徒会主体の活動が必要である。  
 5 生徒会活動、部活動のこれまで以上の活性化が必要である。

7 次年度への改善策

【令和4年度 重点目標】

- 《知》…「わかる授業」「できる授業」の実践(「個別最適な学び」と「協働的な学び」の推進・校内研修の充実・ICTの効果的な活用・愛汗ノートの活用)
- 《徳》…望ましい生活習慣の定着(『日置中美・礼・時』の推進・生徒会活動の活性化)いじめのない学校づくり(教育相談の充実・情報モラル教育の推進)
- 《体》…健康・体力の向上(部活動の活性化)
- 《故郷》…地域とともにある学校づくり(学校情報の発信・地域連携・地域貢献・小中一貫の取組・ユニット型研修・学校評価の活用)